

OCW を活用しよう！

東工大で履修する科目を選ぶときや履修している科目について知りたいときは、OCW を活用しましょう。OCW には、シラバス（講義の概要や進め方が記されたもの）や科目関連図が公開されていて、履修前に講義でどのようなことをするのか知ることができたり、推奨されている履修の順番が分かたりします。このハンドアウトでは、そんな OCW の活用方法についてご説明します。

シラバス

シラバスを探したいときは、OCW ホームページから探すことができます。また、Google 検索で「東工大 微分積分学第一 2020」のように、「東工大 + 講義名 + 年度」と入力しても検索結果に OCW が出てきます。時間割表の PDF から科目名をクリックしてみることもできます。以下、シラバスで重要な項目をいくつか紹介します。

① 授業計画・課題

授業の回ごとに、何を学習するか、課題は何かなどが書かれています。実際にどのようなことを授業で学ぶのか詳細に知ることができるので、講義を選択する際に役立ちます。

② 教科書・参考書、講義資料等

授業に必要な教科書や理解を深めるのに役立つ参考書などが書かれています。前もって必要な教材を知ることができるので、余裕をもって授業準備に取り掛かれます。

③ 成績評価の基準及び方法

成績がどのような基準で付けられるのかなどが書かれています。系所属や研究室所属、卒業をするうえで大切な、成績の向上に役立ちます。

④ 関連する科目・履修の条件

関連する科目や、講義を受けるうえで予め履修しておくことが望ましい科目などが書かれています。その講義を自分が理解できるか判断でき、受けた講義のためにどの講義を履修すべきなのか逆算することにも役立ちます。

2020年度 微分積分学第一・演習 B(8~13) Calculus I / Recitation B(8~13)

開講元	理工系教養科目		
担当教員名	KALMAN TAMAS 菊川 健郎		
授業形態	講義 / 演習 (Zoom)		
メディア利用科目			
曜日・時間(講義室)	月3-4(H101)	水1-2(W241)	金1-2(H101)
クラス	B(8~13)		
科目コード	LAS.M101	単位数	2
開講年度	2020年度	開講クォーター	1Q
シラバス更新日	2020年9月18日	講義資料更新日	-
使用言語	日本語	アクセスランキング	★★★★★

シラバス

講義の概要とねらい

初等階級に関する準備を行った後、多変数階級に対する偏微分、重積分およびこれらの応用について、本講義のねらいは、理工系の基礎となる多変数微積分学の基礎的な知識を養えることにある。

到達目標

理工系の学生ならば、皆知っていないといけない事項の修得を第一目標とする。高校で学習した一変数階級の偏微分に関する基礎、および重積分の基礎と応用について学習する。

① 授業計画・課題

	授業計画	課題
第1回	写像と階級、いろいろな階級	写像と階級、数・三角階級
第2回	講義の進度に合わせて演習を行う。	講義の理解

② 教科書

入門微積分、三宅敏雄、培英館

③ 成績評価の基準及び方法

小テスト、レポート課題、中間試験、期末試験などの結果を総合的に判断する。詳細は講義中に指示する。

④ 関連する科目

LAS.M105 : 微分積分学第二
LAS.M107 : 微分積分学演習第二

履修の条件(知識・技能・履修科目等)

特になし

その他

特になし。

シラバスの一部

連絡先

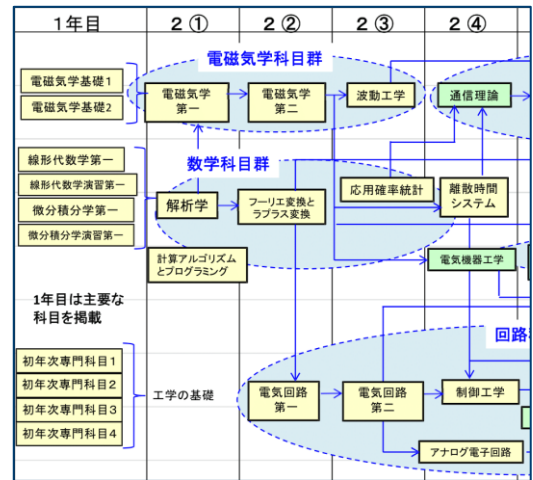
担当教員のメールアドレスや電話番号などが記載されています。講義について質問がある場合などは、直接教員に質問してみてください。連絡先が書かれていなかったり、そもそも連絡先の欄がなかったりします。その場合に教員と連絡を取りたい場合は、学修コンシェルジュ窓口にお問い合わせください！

科目関連図

科目関連図は右図のように系ごとに関連する科目が相関図としてまとめられています。講義が学年とクォーターごとに縦に並んでいるので視認性が良く、どのクォーターにどの講義を履修すれば良いかすぐに分かります。

また、学士課程授業時間割表の方ではレベルコード(200番台や300番台など)別にまとめられています。この図では実際に履修することが推奨される時期に合わせて科目がまとめられているので、これを参照することで、2年生のうちに履修しておくべき300番台の科目などがあっても履修し忘れることを避けられます。

科目関連図を見たい場合は、OCWのホームから学院、系の順番に選択すると下の図のように「科目関連図」というボタンが出てくるので、ここから見るができます。



電気電子系、科目関連図の一部

科目関連図の場所